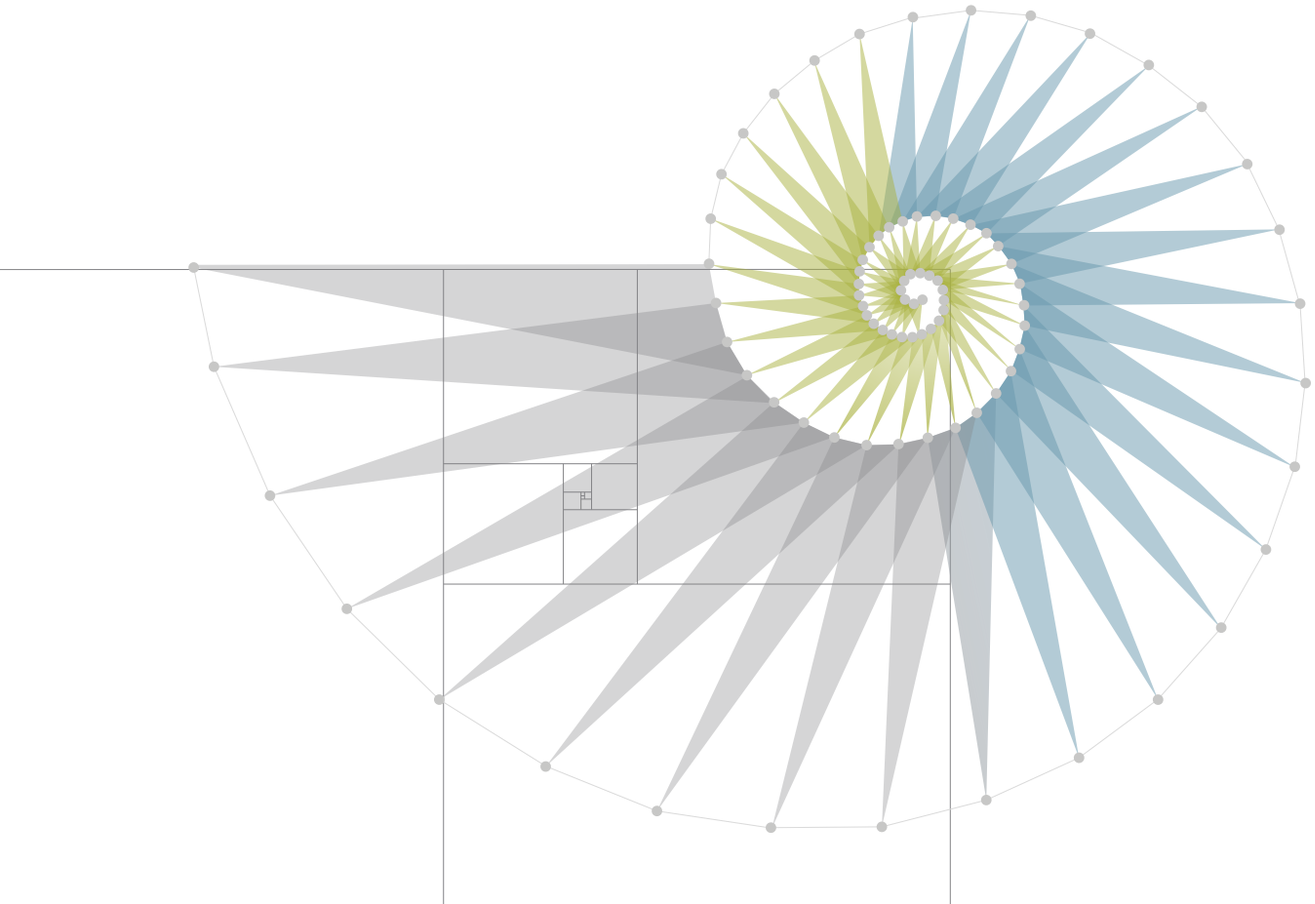
issa | 国際社会保障協会

年次報告

2015/16年



データで見るISSA

国際社会保障協会は、社会保障機関や政府機関を繋ぐ世界有数の国際機関です。ISSA は、世界中のISSA加盟機関がダイナミックな社会保障制度や政策を発展させることができるよう専門的なガイドライン、専門家としてのナレッジ、サービス及び支援を通じて優れた社会保障運営を推進しています。ISSAは、国際労働機関の支援を受け1927年に設立されました。

1927年

ISSAの設立

322機関

加盟(156か国)

12種

社会保障運営のためのガイドラインの策定(2016年)

コミュニティ

ISSAは独自の加盟機関のコミュニティを提供し、会議等や専門家間のネットワークを通じて協力と情報交換の場を提供します。

ナレッジ

ISSAは業界基準を構築し、調査及び分析を実施し、グッドプラクティスを定めます。

サ

ISSAは実用的な
し、社会保障運営
す。

第4回

世界社会保障フォーラムの開催
パナマ、2016年11月

546件

ISSAデータベースに収録された
社会保障のグッドプラクティス（優れた取組み案件数）

1,642人

ISSA会議等への参加者数

42,000回

「国際社会保障レビュー」の記事が
ダウンロードされた回数

150以上

ISSAアカデミー会議へ参加した加盟
機関

1,883,487回

ISSAウェブポータルの
ページビュー数

特に記載のない限りすべて20142015年時点の数字

ービス

なサービスを提供
営をサポートしま

イノベーション

ISSAは、運営を強化し、リスクを
予測し、変化に対応するための
革新的なアプローチを進めます。

促進

ISSAは包括的な社会保障を促進
する世界的な動きを支援します。

優れた社会保障を推進

一年を振り返る

優れた社会保障の推進というISSAの目標において、社会保障を確実に持続的に提供するための鍵は、運営にあると認識されています。国連の持続可能な開発目標では、数多くの国で大きな制約があるものの、社会保障への国内及び国際的な政治的取り組みを強化することが、新たに注目されています。複雑で急速に進化する環境において健全に運営され、機能性が高く、信頼される社会保障機関が、保障の拡大と人々の保護に不可欠な基盤であることが徐々に認識されてきています。

150か国以上からの社会保障機関が共通の課題への対策を講じるためにISSAに集結しています。この点において、この2014-16年の事業計画の最終年は加盟機関にとって特に実り多いものでした。2016年には、加盟機関の優れた社会保障への取り組みを支援する当協会の能力の構築が著しく進展し、また、一連の大規模な国際会議等によって分析のための価値あるプラットフォームと社会保障分野におけるリーダーや専門家が交流する場が提供されました。

ISSAの優れた社会保障運営支援センターが加盟機関に提供するナレッジとサービスは、大幅に強化されましたが、ISSAアカデミーの拡大と共に、新たな重点分野におけるガイドラインの整備、及び認証制度とベンチマーキング制度の第一段階を著しく進展させました。

2014年のアフリカ会議以降、4つの地域フォーラムのうち3地域（アジア太平洋、南北アメリカ、ヨーロッパ）のフォーラムが開催され、社会保障機関の幹部と上級管理職900人が参加しました。各機関は、制度の管理と運営におけるより大きな革新によってのみ長期的な進歩が維持されると認識しており、地域ごとの多様性があるものの、すべての会議において共通した現実のテーマが明らかになりました。

高い称賛を受けた2つの国際カンファレンスでは、ISSAが社会保障の専門家に重要なプラットフォームを提供しました。2015年9月にアスタナで開催された「情報と通信技術に関する国際カンファレンス」では、デジタル化への変換が焦点となりました。制度の長期的な持続可能性は、本質的な保険数理業務にかかっており、2015年9月にブダペストで開催された「社会保障数理国際カンファレンス」では、数理業務のダイナミックで進化する役割について概要が紹介されました。

カザフスタン（アスタナ）
第14回社会保障における情報と通信技術に関する国際カンファレンス

2015年9月2-4日

2015/16年の主要な会議

ISSAのプログラムは、2015年に実施された加盟機関の世界調査で一層の支持を得ています。10の加盟機関のうち、8の加盟機関が、ISSAの新しい戦略の方向性に強い支持を表明しており、ISSAの活動のパフォーマンスと妥当性に対し高い満足度が確認されました。

将来に目を向けると、2017-2019年の新たなISSAの計画により、ISSAの社会保障の専門的な基準を定義する正式機関としての役割が一層強化されます。実践的で個別状況に対応したサービスによって、会員機関が、中核的業務の課題に取り組み、運営の改善ができるよう、実践的で個々の状況に対応したサービスを提供します。ISSAが新たな発展の最先端にいること、そしてイノベーションを管理していく上で加盟機関を支えることができるように、ISSAの調査及びイノベーションの機能が強化されます。

ISSAは2017年に創立90周年を迎えるに当たり、当協会の歴史的な使命である「社会的正義に基づき国民の社会的、及び経済的状況を向上させるために、技術上、運営上の改善を通じて、社会保障を推進し発展させる」ことがこれまでに以上に求められます。

ISSAにとって、2016年11月にパナマで開催される世界社会保障フォーラムは、加盟機関に提供するナレッジに基づくサービスに向けて着実な進歩を遂げたこの3年間で最もエキサイティングな会議になるでしょう。世界フォーラムは、社会保障の政策決定者に対して議論と情報交換のための極めて重要なプラットフォームを提供し、世界の社会保障の将来を形成する数々の重要な問題に対処するための確固たる下地を提供します。

当協会は、特に実り多いこの年の成功を確実なものとするため、積極的に貢献いただいた多くの加盟機関、パートナー、スタッフに対して感謝の意を表し、本協会の素晴らしい歴史における新たなステージを期待しています。

エロル・フランク・ストゥーブ
会長

ハンス-ホルスト・コンコルスキー
事務総長

ハンガリー（ブダペスト）
第18回社会保障数理国際カンファレンス
2015年9月16-18日

オマーン（マスカット）
アジア太平洋地域社会保障フォーラム
2015年11月2-4日

メキシコ
（メキシコシティ）
南北アメリカ地域社会保障フォーラム
2016年4月11-13日

スウェーデン
（ストックホルム）
ヨーロッパ地域社会保障フォーラム
2016年4月18-20日

パナマ（パナマシティ）
世界社会保障フォーラム
2016年11月14-18日

会議等

写真で見る一年

写真で振り返る2015/16年に実施されたISSA事業

or Excellence in
ecurity A inistration
ISSA Gui

CHAIRPERSON

優れた社会保障運営の構築

ISSA優れた社会保障運営支援センターは、社会保障における優れたガバナンス、高いパフォーマンス、及び高品質なサービスに不可欠なナレッジとサービスを提供します。

ISSA優れた社会保障運営支援センター

ガイドライン

優れた運営支援センターの中核をなすISSAガイドラインは、社会保障運営の12の中心分野における国際的に認められた専門基準を扱っています。包括的ナレッジに基づき、管理職員がガイドラインを実施する際のサポートを行います。

アカデミー

アカデミーは加盟機関に対し、問題解決、学習、情報交換のプラットフォームへのアクセスと共に、能力構築、人材開発の機会を提供します。

アカデミーワークショップは、ISSAガイドラインに基づいて、同業者との情報交換や社会保障機関が直面する特定の課題やニーズの解決策を見出すための機会を社会保障の専門家に提供しています。

社会保障の国際的な専門的基準に基づいたハイレベルなディプロマ課程では、資格のある外部の研修パートナーと協力し、管理職員の組織内での専門能力構築を支援します。

テクニカルアドバイス・サポート

ISSAテクニカルアドバイス・サポートチームは、加盟機関の運営の向上を支援するため、加盟機関への追加的なナレッジ、ガイダンス、専門情報を提供します。

認証

ISSA認証プログラムは、ISSAガイドラインを活用している実施機関を対象に、正式な評価と認証を発行します。ガイドライン遵守のレベルを評価したうえで、実施機関は、優れた運営に対する認証を受けることができます。

ISSA優れた運営支援センターの開発は、実務職員及び管理職員が、社会保障運営の強化を目的とした幅広い革新的な商品とサービスに従事したことにより、2016年、新たな段階に到達しました。

2013年に初めてISSAガイドラインが作成され、加盟機関から特段の歓迎を受けて以降、優れた運営支援センターの戦略により研修と能力開発の提供を強化しました。

複数の地域に所在する世界的な研修機関が参画したISSAコンソーシアムが、社会保障の専門家を対象とした修了証書授与を伴う研修課程を初めて設置したことにより、ISSAアカデミープログラムは急速に発展しました。この研修課程は参加者が所属する機関に有益な特定のナレッジとリソースの提供と共に、社会保障運営の国際的な専門基準の高度なナレッジを提供しています。

同時に、運営上直面する特定の課題の解決に重点を置くアカデミーワークショップが、2015年と2016年に20か国以上で開催されました。2016年中頃までには、およそ500人の社会保障機関の管理職員とスタッフがISSAアカデミーの活動に参加しました。

ISSA認証は2015年末及び2016年始めに試験的に実施されました。このプログラムは、加盟機関がISSAガイドラインへの遵守を評価することができるよう設計されており、試験プロジェクトは保険料徴収・納付義務遵守の分野で実施されました。

ISSA本部を本拠地とするテクニカルアドバイス・サポートサービスは、情報、ナレッジ、分析、専門について、加盟機関から100以上の要請に応えてきました。

2015年の加盟機関に対する調査では、新しいISSAの戦略上の焦点が加盟機関から強く支持されていることが確認され、ISSA役員会と技術委員会との協議により、センターの次の開発段階における優先項目が特定されました。

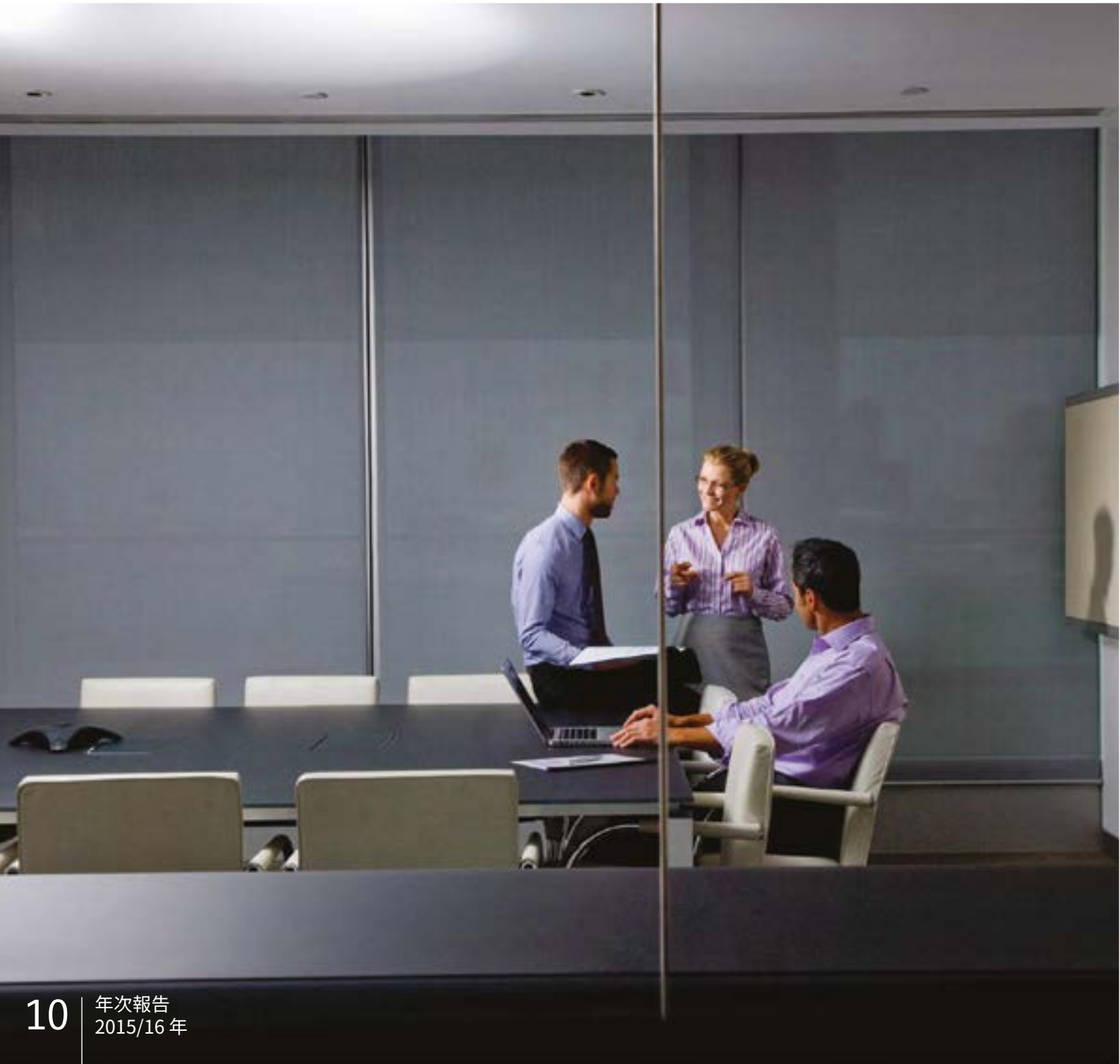
優れた運営支援センターは、的確な情報源、実用的な加盟機関へのサービス及び新たなガイドラインの導入を通じて、今後もそのサービス範囲を拡大し、各加盟機関の業務内容、規模や地理的な位置に関係無く、独特かつ包括的な情報を引き続き提供していきます。

www.issa.int/excellence

優れた社会保障運営支援センター

社会保障の国際的ガイドライン

ISSAガイドラインは、社会保障運営において唯一の専門的基準を示しています。



ISSAガイドラインは、社会保障の管理職員に対して、運営の特定分野において、国際的なベストプラクティスの簡潔で実際的なナレッジへのアクセスを提供しています。ガイドラインは7カ国語で提供されており、ISSA加盟機関からの注目が高まっています。2015年に実施された加盟機関に対する調査で、加盟機関の60パーセント以上が（いくつかは管理機関レベルで）ISSAガイドラインの1つ以上を現在使用しているか、または使用を予定しており、多数の機関がこれらの国際的専門基準を戦略的計画と品質管理システムに取り入れていることが確認されました。

ISSA技術委員会との協力の下、運営に関する4つの追加分野に対する新しいガイドラインを作成しており、2016年11月に公表される予定です。

社会保障運営に関するISSA ガイドライン

- グッドガバナンス
- サービスの質
- 保険料徴収・納付義務遵守
- ICT（情報通信技術）**
- 社会保障基金の投資
- 持続可能な雇用の推進*
- 社会保障運営におけるコミュニケーション*
- 社会保障の数理業務(ILOと共同)*
- 適用拡大のための運営上の解決方法*
- 職場復帰と再統合
- 職場のリスク予防**
- 職場の健康増進

* 新規ガイドライン
** 改訂ガイドライン

www.issa.int/guidelines

国際会議

社会保障とデジタル変換

第14回ISSA社会保障における情報と通信技術に関する国際会議

新しいモバイル技術により、人々の生活様式、仕事、コミュニケーションの方法が変化しています。数億人にサービスを提供する社会保障制度は、こうした流れの影響を受けており、多くの国が、国民中心の情報や通信技術の利用においてイノベーションを主導しています。

社会保障機関のパフォーマンスとサービスの質の向上における技術の戦略的な役割は、2015年9月2-4日、カザフスタンのアスタナで開催された第14回ISSA社会保障における情報と通信技術（ICT）に関する国際カンファレンスにおける中心的な議題でした。

カザフスタン共和国の保険社会開発省及び国家社会保険基金が主催したこの会議は、世界中から300人以上の専門家と政策決定者を招いて開催されました。

社会保障機関にとって技術がより利用しやすくなった一方で、大規模で必要不可欠なシステムの実施は、急速な技術革新や技術及び経済的側面を管理する必要がある機関にとって重要な課題をもたらす可能性があります。

会議で紹介された事例の中でも、インターネットサービスの向上とモバイル技術の革新的利用により、社会保障機関がこれまで対象とするのが難しかった過疎地労働者などに対する社会保障の提供が可能になりました。社会保障の適用対象者の拡大、財政及び持続可能性の向上はICTの革新的利用による直接的な成果です。

会議では、国際間の協力の高まり、国家レベルでの社会保障機関間の調整の改善により、社会保障機関がいかに情報システムの相互運用性、効率的なデータ交換、統合を確実なものとする必要があるかについて分析しました。システムのコスト上昇と複雑性の高まりと共に、社会保障機関は共有できる解決策と共通のアプリケーションを模索しています。

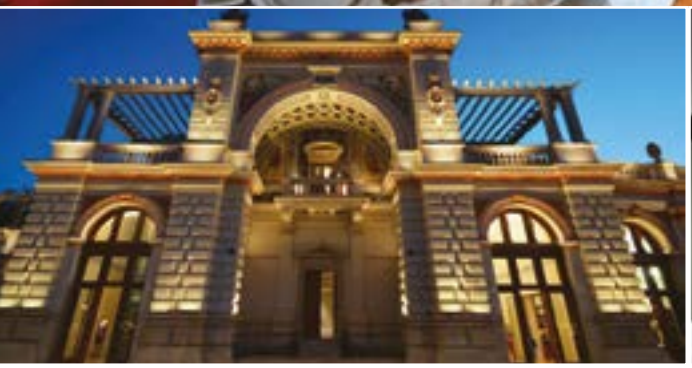
ISSAによる社会保障における国際的なICTガイドラインの開発は、中心的な議題でした。この他、社会保障機関に対し、さらに複雑な分野における重要なナレッジを提供するため、社会保障協定とマスターデータ管理という2つの新しい分野におけるガイドラインが提示されました。

www.issa.int/ICT2015

国際会議

数理業務と社会保障：リスクの予測と持続可能性の確保

第18回社会保障数理国際カンファレンス



社会保障の影響評価及び制度の適切性と持続可能性の確保における数理の役割とナレッジがかつてこれほど重要であったことはなく、この問題は、2015年9月16-18日ハンガリーのブダペストで国民年金保険中央機関（Central Administration of the National Pension Insurance）の招待により開催されたACT 2015 – 社会保障数理国際カンファレンスにおける議論の中心でした。

この会議には世界中から300人以上の専門家が参加し、社会保障の政策決定、給付設計、財政と管理、及び数理専門家がこのプロセスにどのように貢献しているかなどの主要な問題について幅広く議論されました。

社会保障基金の効果的な運用は、制度の持続可能性に大きく貢献します。同時に、投資パフォーマンスの監視強化、管理すべきより複雑なリスク、及び適切なリターンを生み出すことの困難は、数理の関与が必須であることを意味しています。

中でも社会保障基金と年金制度は最大の機関投資家であり、会議の参加者は、投資戦略と社会的に責任ある投資への関心の増大などのトレンドについて分析しました。

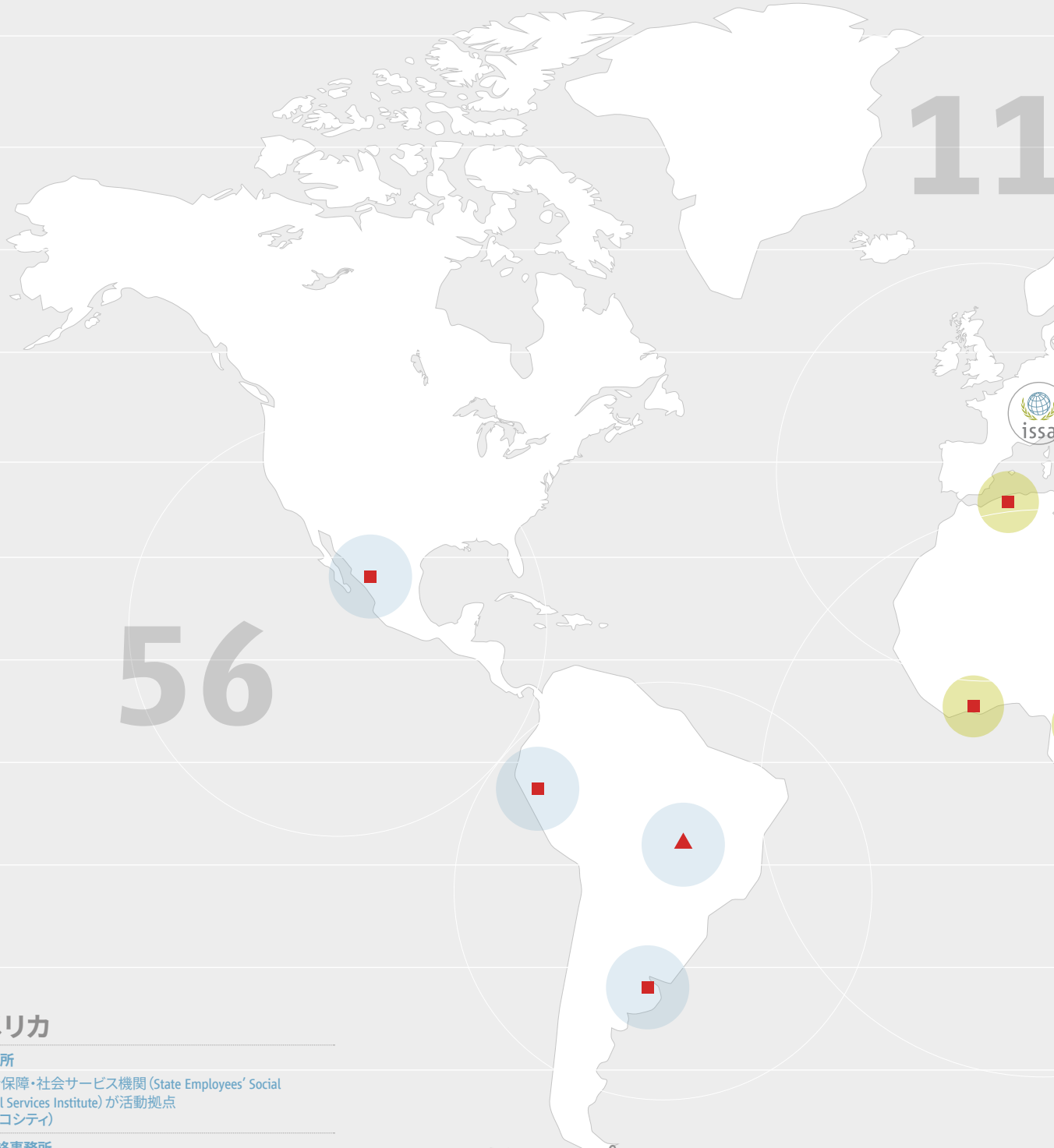
参加者は、社会保障がコストとしてではなく、一国の社会的、経済的発展のための投資として徐々に認識されてきていること、社会保障システムが持続可能性を維持するために、その設計と財政は、急速に変化する外部環境に適応するのに十分に強固で柔軟性を持つべきであることについて、合意しました。

会議では、ISSAが国際労働機関(ILO)と共同で開発した、社会保険のための数理業務のための新しい専門的ガイドラインが紹介されました。このガイドラインは、新制度にかかる費用、制度の評価、規制、成果の報告、及び同業者による評価のプロセスなどの分野における優れた数理基準を規定しています。

社会と経済が急速に変化する時代において、適切な投資戦略が策定され、実績が監視されるよう、社会保障の数理は引き続き重要な役割を担っています。

www.issa.int/ACT2015

世界のISSA



南北アメリカ

北中米連絡事務所

国家被用者社会保障・社会サービス機関（State Employees' Social Security and Social Services Institute）が活動拠点
メキシコ（メキシコシティ）

アンデス諸国連絡事務所

デラママジステリアル（Derrama Magisterial）が活動拠点
ペルー（リマ）

南米コーノスール連絡事務所

社会保障庁（National Social Security Administration）が活動拠点
アルゼンチン（ブエノスアイレス）

ポルトガル語諸国フォーカルポイント

国立社会保障院(National Institute of Social Security)が活動拠点
ブラジル（ブラジリア）

正会員	準会員	合計
40	16	56

ヨーロッパ

ISSAヨーロッパネットワーク

社会保険機関（Social Insurance Institution）が委員長を務める運営委員会
ポーランド（ワルシャワ）

ユーラシア連絡事務所

ロシア連邦年金基金（the Pension Fund of the Russian Federation Moscow）が活動拠点
ロシア連邦（モスクワ）

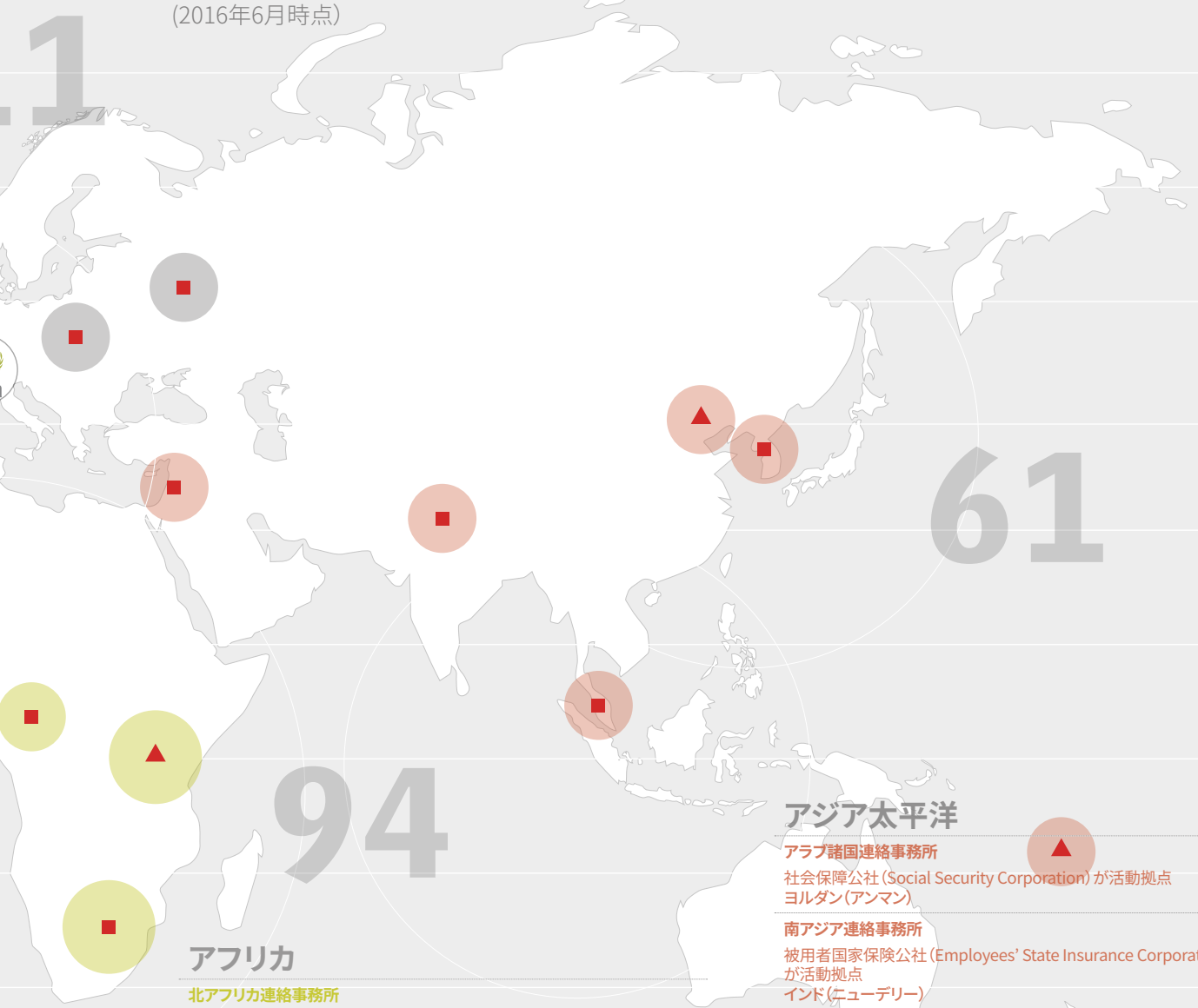
正会員	準会員	合計
84	27	111

94 56 61 111

アフリカ | 南北アメリカ | アジア太平洋 | ヨーロッパ

正会員: 143か国254機関
準会員: 40か国68機関
合計: 156か国322加盟機関
(2016年6月時点)

322



アフリカ

北アフリカ連絡事務所
全国被用者社会保険基金(National Social Insurance Fund for Employees)が活動拠点
アルジェリア(アルジェ)

西アフリカ連絡事務所
全国社会保険基金(Social Insurance Institute-National Social Insurance Fund)が活動拠点
コートジボワール(アビジャン)

中央アフリカ連絡事務所
全国社会保険基金(National Social Insurance Fund)が活動拠点
カメルーン(ヤウンデ)

南アフリカ連絡事務所
社会開発省(Department of Social Development)が活動拠点
南アフリカ(プレトリア)

東アフリカフォーカルポイント
東中央アフリカ社会保険協会(East and Central Africa Social Security Association)
ケニア(ナイロビ)

正会員	準会員	合計
82	12	94

アジア太平洋

アラブ諸国連絡事務所
社会保障公社(Social Security Corporation)が活動拠点
ヨルダン(アンマン)

南アジア連絡事務所
被用者国家保険公社(Employees' State Insurance Corporation)が活動拠点
インド(ニューデリー)

東南アジア連絡事務所
社会保障機関(Social Security Organisation)が活動拠点
マレーシア(クアラルンプール)

東アジア連絡事務所
国民医療保険公団(National Health Insurance Corporation)が活動拠点
大韓民国(ソウル)

中国加盟機関フォーカルポイント
人力資源・社会保障部社会保険庁(Social Insurance Administration of the Ministry of Human Resources and Social Security)が活動拠点
中国(北京)

太平洋諸島国フォーカルポイント*
フィジー国立共済基金(Fiji National Provident Fund)
フィジー(スバ)

* 2016年開設

正会員	準会員	合計
48	13	61

アジア太平洋地域にとって好機の10年

アジア太平洋地域社会保障フォーラム

アジア太平洋地域社会保障フォーラムの参加国は、アジア太平洋地域の社会保障はかつてない発展を遂げるための好条件に恵まれているが、包括的な適用範囲を強固にして維持するには、新たな課題に向けて制度を整備する必要があることを確認しました。

2015年11月2-4日、オマーン・スルタン国社会保険公共局の招待によりオマーンのマスカットで開催されたフォーラムには300人以上が参加しました。

アジア太平洋の人口は、世界の人口の半分を占め、急速な社会的、経済的、そして人口動態の変化に直面しており、社会保障の実務運営者と政策決定者にとって類まれな課題となっています。

フォーラムは、ダイナミックな経済成長、積極的な政治的意志、及び「人口動態の好機（demographic window）」の好連携が、地域の多くにおける社会保障の設計、財政、提供内容の最近の飛躍的な進歩にどのように貢献したかについて分析しました。

フォーラムは、次の10年が地域の社会保障運営にとって大変重要になることを確認して終了しました。

プラスの社会的かつ経済的な成果を得るには、現在の状況と推進力を利用して持続可能な社会保障の適用範囲を国民に対しさらに拡大することを目的として、社会保障と、より広範な社会的、労働市場政策を網羅しながら、継続的で安定した政治的コミットメントにより裏打ちされた社会保障制度による一貫した統合アプローチが必要です。

2015年アジア太平洋地域のISSAグッドプラクティス賞

アジア太平洋地域のISSAグッドプラクティス賞は、公正に選ばれた結果、人材サービス省（オーストラリア）及び韓国国民年金基金（韓国）が受賞しました。地域別コンテストは3年ごとに開催されており、今回は16か国から48のエントリーがありました。

www.issa.int/rssf-asiapacific2015

地域フォーラム

社会保障–南北アメリカにおける社会変革へのプラスの原動力

南北アメリカ地域社会保障フォーラム

南北アメリカ地域社会保障フォーラムの参加者は、この地域の社会保障適用の対象範囲拡大において、革新的なアプローチと強固な政治的意志を重要な要素として掲げ、将来の社会保障の発展への協力に対する共通のコミットメントを再確認しました。

2016年4月11-13日にメキシコシティで開催されたフォーラムは、28か国からの340人の社会保障責任者及び実務担当者に、経験、グッドプラクティス、解決策を共有するための特別な機会を提供しました。このフォーラムは、国家被用者社会保障・社会サービス機関（ISSSTE)の主催により開催されました。

南北アメリカ地域は、政治的関与を強化し、政策を調整し、運営における効率性が向上した結果、過去10年間、社会保障の対象範囲拡大で目覚ましい成功を収めました。政策を取り巻く環境は困難が多くありましたが、社会保障の設計、財政、及び社会保障の提供が改善されたことで、社会保障プログラムはこの地域の社会的、経済的なプラスの変革の原動力となりました。

フォーラムは、大きな課題はあるものの、イノベーションの能力と社会保障運営の向上へのコミットメントがこの地域における将来の積極的な社会保障発展の条件であることを指摘しつつ、前向きなコメントで幕を閉じました。

2016年南北アメリカ地域のISSAグッドプラクティス賞

南北アメリカ地域のISSAグッドプラクティス賞は、アルゼンチンの公的資源連邦運営局（Federal Administration of Public Resources）の、国内労働者の社会的保護で飛躍的な改善を可能にしたプロジェクトに送られました。コンテストには9か国の17機関から53のエントリーがありました。

www.issa.int/rssf-americas2016

ヨーロッパの複雑な変化に対応するための社会保障のイノベーション

ヨーロッパ地域別社会保障フォーラム

ヨーロッパ地域社会保障フォーラムでは、労働市場の絶え間ない変化、格差の広がり、人口動態の傾向と結びついた非正規雇用の増加によって、ヨーロッパの社会保障に運営による根本的な変更と改革が求められていることが確認されました。

2016年4月18-20日、スウェーデンのストックホルムで開催された地域フォーラムには過去最高の330人の政策決定者と実務担当者が参加しました。このフォーラムはスウェーデン年金庁によって開催されました。

大規模な社会的変化、予算の制約及び経済の不確実性が背景にありながらも、ヨーロッパの社会保障制度は、ますます複雑で難しい状況に効率的に対応しています。フォーラムで紹介された広範に及ぶ様々な事例では、リスクを最小化し、かつ国民に対する総合的な社会保障適用を維持するために、システムがどのように積極的に刷新され、対応しているかが示されました。

フォーラムの締めくくりとして、ヨーロッパの社会保障機関は、長期にわたって運営を形作っていく複雑な課題はあるものの、顧客中心サービス戦略及び人々の一生に即した給付やサービスを維持することで、包括的で持続可能な社会保障を確保できる、と総括しました。また、より効率的な運営は、より優れた調整と統合、それに国民とのコミュニケーションにより支えられる必要がある、ということで一致しました。

2016年ヨーロッパ地域のISSAグッドプラクティス賞

ヨーロッパ地域のISSAグッドプラクティス賞は、アイルランドの社会保護省による国民福祉と雇用サービスの統合における功績に対して送られました。コンテストには19か国の27機関から71のエントリーがありました。

www.issa.int/rssf-europe2016

優れた社会保障運営のためのナレッジ

ISSAウェブポータル

ISSAウェブポータルは、世界中の社会保障運営に関する包括的な情報、ニュース、データ及び分析を提供しています。個々のユーザー向けにカスタマイズされたMy ISSA欄のほか、「ISSA優れた運営支援センター」、「ISSAガイドライン」及びその他の重要な情報源への全てのアクセスをはじめとする会員限定のサービスが提供されています。.

www.issa.int

国際社会保障レビュー

1948年に創刊された「国際社会保障レビュー」は、世界でも主要な社会保障の刊行物で、四半期ごとに出版されます。世界有数の社会保障専門家による時事問題に関する国際比較や考察及び社会保障政策や社会保障制度の比較分析研究に関する記事を掲載しています。また、ISSA加盟機関の関心の中心となる政策や運営を主題とした特別号や主題別特集号も刊行しています。

オンラインアクセス：英語の記事については1967年以降の掲載記事がアクセス可能です。フランス語、ドイツ語及びスペイン語の記事については2007-2013年の掲載記事がアクセス可能です。加盟機関はMy ISSAを利用していつでも「国際社会保障レビュー」に無料でアクセスできます。「国際社会保障レビュー」は英語で刊行されます。なお、新しい記事の概要に関しては、そのすべてについて、英語、アラビア語、中国語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語及びスペイン語による記事が利用可能です。.

www.issa.int/review

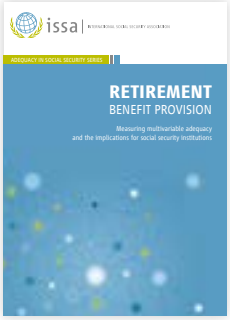
世界の社会保障制度一覧

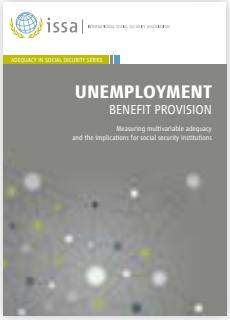
このシリーズでは、アジア太平洋、アフリカ、南北アメリカ、ヨーロッパ編の地域別に調査結果をまとめ、2年間にわたり6カ月毎に刊行されます。各巻は特定の地域の社会保障制度の特徴を概説します。「世界の社会保障制度一覧」は、アメリカ社会保障庁とISSAの共同作成による出版物です。

英語版。

www.issa.int/SSPTW

社会保障の妥当性





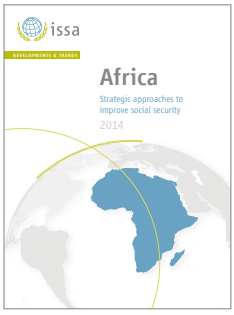
十分な給付やサービスとはどのようなものでしょうか？また、どのようなベンチマークに対して、十分な給付とサービスを定義することができ、最終的な評価が可能なのでしょうか？このシリーズでは、年金と失業手当における十分性を分析し、複数の変数により十分性の測定を定義し評価する定量モデルを提言します。

退職手当給付: 英語版が利用可能。

失業手当給付: 英語版、フランス語版、スペイン語版が利用可能。

www.issa.int/adequacy

社会保障の進展と傾向

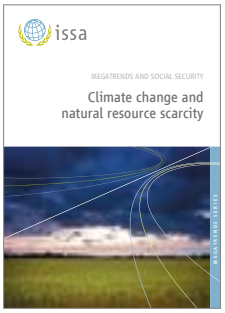


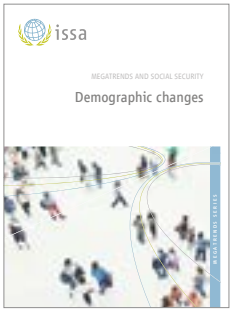
このシリーズでは、各地域における社会保障に関する最も重要な最近の社会保障の課題、進展及び傾向をISSA事務局が収集した詳細なデータと具体的な事例を使って、特定、総括、分析します。英語版が利用可能。

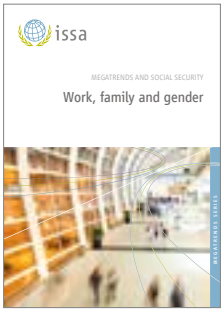
なお、対象地域によっては他言語版もあります。

www.issa.int/DT

メガトレンドと社会保障







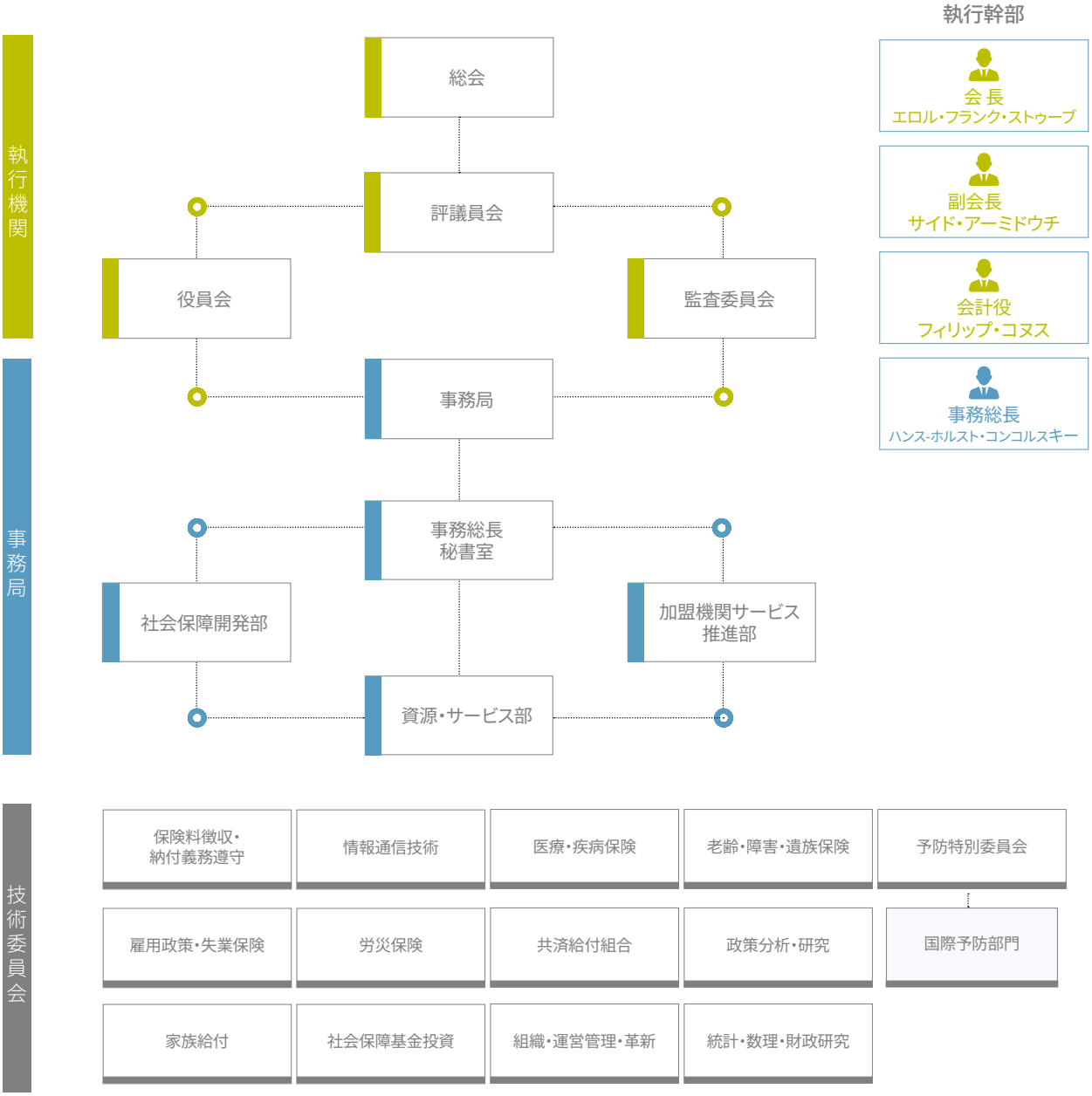
ISSAは主要な外部要因（またはメガトレンド）が今後、数十年間で社会保障制度にどのような影響を与えるか、そして社会保障運営機関は、メガトレンドが社会に対する影響をどのように予測し、軽減できるかを分析しています。ISSAは、メガトレンドが社会保障制度の背景と要求に影響を与える4つの分野でレポートを作成しています：「労働市場」、「気候変動と天然資源の不足」、「人口動態の変化」、「仕事、家族、ジェンダー」です。

英語版が利用可能。他言語による概要版有り。

www.issa.int/megatrends

国際社会保障協会

ISSAの統治と組織体制



© ISSA 2016
978-92-843-8228-6
Front cover: The Fibonacci spiral represents the “golden ratio” and symbolizes excellence.
Photos: PanoramaStock; iStockphoto; Gettyimages; Corbis.

Promoting excellence in social security
Promouvoir l'excellence dans la sécurité sociale
Promoviendo la excelencia en la seguridad social
Förderung von Exzellenz in der sozialen Sicherheit
За повышение стандартов в социальном обеспечении
促进卓越的社会保障
دعم التميّز في الضمان الاجتماعي

ISSA General Secretariat
4 route des Morillons
Case postale 1
CH-1211 Geneva 22

T: +41 22 799 66 17
F: +41 22 799 85 09
E: issa@ilo.org

www.issa.int